

4 モエンサイディングの重ね張り工法

4-1 重ね張り工法の標準施工法

4) 胴縁と留付ビスについて

- 胴縁材はベイツガ材やスギ材などの乾燥材を使用してください。厚みは18mm以上とし、図のように施工方法に応じた厚みとします。
- 既存壁がモルタルの場合、胴縁の留め付けには専用ビス(JKV1000: $\phi 4.8\text{mm} \times 90\text{mm}$)を用い、500mm以下の間隔で柱・間柱などの躯体へ留め付けます。
- 専用ビスは基本的に振動ドリルで施工します。既存モルタルの状況により施工できない場合は、モルタル壁に $\phi 3.5\text{mm}$ 以下の先孔をあけて施工します。
- 既存壁がサイディングの場合、胴縁の留め付けにはコーススレッドなどの保持力の大きいビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ビスの長さは、柱・間柱等の躯体へ25mm以上かかる長さで、ビス径は $\phi 3.8\text{mm}$ 以上とします。
- モエン-M・Wを重ね張りする場合(図1・図4)、モエン用釘を柄目地部に留め付けないようにします。

| | 既存モルタル壁 | 既存サイディング壁 |
|----------------|-----------|-----------|
| 釘打ち施工(モエン-M・W) | <p>図1</p> | <p>図4</p> |
| 金具施工 | <p>図2</p> | <p>図5</p> |
| | <p>図3</p> | <p>図6</p> |